

# 考動・躍動・感動

## 自分の将来について

先週末から学年掲示板に『道標』(裏面参照)が掲示されているのを知っていますか。進路指導担当の岩下先生から

「一年生のうちから少しでも『進路』について考えるきっかけになれば・・・」  
 ということで、今年度が初めての試みです。『進路』って何?』という問いから始まっています。今みんなにとって『進路』という言葉は遠い世界の言葉に感じるかもしれません。しかし、2年半後に卒業するときには、それぞれに『決断』をしなくてははいけません。その『決断』をするときに、どういった決断ができるか、どれくらいの幅から選ぶことができるかは、それまでの2年半の過ごし方にかかってきます。

自分の『進路』について考える一歩として、11月には職場体験を行います。1学期に行った「職業レディネステスト」の集計結果を参考にしながら、また自分自身の思いを大切にしながら、事業所を決め、2日間の職場体験に前向きに取り組みましょう。

4月の学年集会の時に、先生は

「常に卒業式をイメージしている。」

「(学校内だけでなく)社会に出たときに、通用する人になってほしい。」

という話をしました。勉強や部活や各行事など目の前のことに一生懸命に取り組むことも大切ですが、少し『自分の将来』についても考えていきましょう。



### 【落ち着いた学習環境を創っていこう!】

#### 『2分前入室、1分前着席』

今週から新たな試みとして、学年全体で取り組んでいることです。1学期から室長会中心に、授業を大切にする・落ち着いて授業に取り組むということをねらいとして、『チャイム着席をしよう!』という声かけをしてきていました。1学期後半や2学期はじめのみんなの様子を見ると、ほとんどの人はチャイム着席はできているものの、チャイムが鳴る直前に(中にはチャイムが鳴ってから)、慌てて廊下を走って教室に駆け込んでいく人も見かけます。とても危険な状況を眼にすることもあります。

2学期は行事も多く、少し学校全体が慌ただしくなりがちです。しかし、そんな時だからこそしっかりとけじめをつけ、授業を大切にしていきましょう。授業にしっかりと取り組める、日々の生活をきちんとできることが、各行事の成功にもつながります。一人ではそういった雰囲気を作り出すことはできません。クラスみんなで、学年全員で意識を高めていきましょう。

